

新『反』差別 連続企画 第1回

クルドヘイト

～在日クルド人に対するヘイトスピーチから日本社会を考える～

2025年9月6日（土）

13時30分～16時30分（受付開始13時～）

大阪弁護士会館2階ホール

参加費
無料

現在、埼玉県南部の在日クルド人が、住居侵入や業務妨害、肖像権侵害、子どもへのいじめなど、の差別・ヘイトにさらされています。

大阪の生野区における在日朝鮮人に対するヘイトスピーチ、川崎市における在日朝鮮人に対するヘイトスピーチに続き、埼玉県南部で在日クルド人に対してヘイトスピーチが始まったのです。

これらの差別・ヘイトスピーチは、いずれもネット上の言論から始まっており、アテンション・エコノミー（情報過多の社会においては、消費者が支払えるアテンションないし消費時間が経済的価値を以て市場で流通するようになる経済モデル）が下支えをして広がりを見せています。

2024年9月からクルドヘイト対策弁護団が結成され、ヘイト情報発信者の情報開示手続や損害賠償請求訴訟の提起、ヘイトデモを阻止するための仮処分申立てなどを行っています。

ヘイトスピーチのネットからリアル社会への出現のプロセスを客観的に分析できないことには、今後も様々な地で、様々な民族を対象として、同様のことが発生することが予想されます。

この度の企画を通じて、在日クルド人に対する差別・ヘイトの実態を伝え、差別・ヘイトスピーチに対する普遍的な対策を考える機会にしたいと考えています。

申込方法は裏面に記載



金英功氏

埼玉弁護士会所属の弁護士。在日本朝鮮人権協会とNPO法人ウリハッキョの理事。クルドヘイト対策弁護団員。



チョーラク・ワッカス氏

一般社団法人日本クルド文化協会の事務局長。仮処分申立手続等の当事者。



安田浩一氏

ノンフィクションライター。川口・蕨の在日クルド人の差別問題を継続的に取材し、トルコのクルド人の現地取材も行った。



明戸隆浩氏

大阪公立大学大学院経済学研究科准教授。専門は社会学、社会思想、多文化社会論。

1 報告と解説

1

川口・蕨の現地報告

（金英功氏＋チョーラク・ワッカス氏）

2

クルディスタンの現地報告

（安田浩一氏）

3

プラットフォームとヘイトスピーチに関する解説

（明戸隆浩氏）

2 パネルディスカッション ＋質疑応答



大阪弁護士会
Osaka Bar Association since 1880

【申し込み方法】 ※会場参加のみになります（WEB配信はありません）。

- ① 下記のURLまたはQRコードからお申し込みください。
定員（200名）に達した場合、申込みを締め切る場合がございます。

[HTTPS://FORM.QOOKER.JP/Q/AUTO/JA/20250906SYMPOSIUM/TOUROKU/](https://form.qooker.jp/q/auto/ja/20250906symposium/touroku/)



- ② 上記①の登録完了後、登録完了のメールが届きます。
- ③ 録画・録音は禁止させていただきます。

【本講演に関するお問い合わせ先】

大阪弁護士会 委員会部人権課 人権擁護委員会 担当事務局 TEL：06-6364-1227



【交通手段】

- ・京阪中之島線「なにわ橋駅」下車 出口(1)から徒歩約5分
- ・地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1番出口から徒歩約10分
- ・地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分
- ・JR東西線「北新地駅」下車 徒歩約15分